

パブリックコメントの概要と町の考え方

	該当箇所	パブリックコメント 概要	田原本町の考え方
1	P23	(5)タワラモトンタクシー助成制度の現状の次に(6)として「tawamo(タワモ)」の現状を記載しないのはなぜですか？ 令和5年11月から区域運行型デマンド交通（自家用有償旅客運送）「tawamo(タワモ)」の運行を町の北東エリアで開始・令和6年10月より区域運行型デマンド交通（自家用有償旅客運送）「tawamo(タワモ)」の運行区域を町南東部と南西部にも拡大しています。運行開始から約1年半が経過しているにも関わらず、その実態(目標人員と実績の乖離)と原因、課題の記載がないのはなぜですか？ぜひとも記載すべきと考えますがいかがですか？	ご指摘のとおり、運行開始から約1年半が経ち、実態や見えてきた課題がありますので、記載いたします。
2	P39	平成29年にすべての路線バスが廃止され鉄道以外の唯一の公共交通機関であるタクシーも現在3社となっています。将来タクシーがなくなるとすべて町が町民の方の移動手段の提供をすることになり大変な状況となります。 したがって、町で公共交通空白地域の対策を計画される場合、タクシーとの共存を念頭にタクシー事業への影響を最小限に抑える計画を進めるべきです。 タクシーは、民間事業者で運営されており運転者不足対策や燃料高騰、車両代替の費用増を運賃収入で賄うため、やむを得ず初乗り運賃を昨年11月から1.5キロまで690円を1.3キロまで750円に改定されています。一方、町で運行するtawamo(タワモ)の運賃を500円(定額)→300円(定額)に値下げ予定であるとの表記があります。町では、運行費用を運賃で賄わなければならないという発想、考えが必要でないため、利用客を増やすために安易に運賃を下げる計画のようです。500円を300円にする値下げは、なんと40%ダウンです。タクシー事業に影響があると考えます。もちろん田原本町内にタクシー事業者がない場合、tawamo(タワモ)の運賃を100円(定額)にされてもなんの問題もありません。 ぜひとも、地域公共交通会議でタクシー関係者(事業者、タクシー協会等)の意見を尊重して進めて下さい。いかがですか？	ドア・ツー・ドアの地域に密着した公共交通機関であるタクシーは、多くの町民にとって無くてはならない生活の足となっています。平成29年に路線バスが廃止されて以降は特に、町の交通を支える重要な存在です。 町としては、タクシー事業者との共存を念頭に置き、民業圧迫とならないようタクシー事業への影響を最小限に抑えつつ、町民の皆様の利便性を高めるための施策を検討しています。公である町としては、特に高齢者など移動に困難を抱えている方の交通手段の選択肢を少しでも確保し、交通基盤を整備しておくことが重要と考えています。この点については当然、町内のタクシー事業者と協議を重ね、両者がそれぞれの役割を果たしながら、地域のニーズに応える形で棲み分けできるよう、制度の設計を行ってまいります。 また、当町の地域公共交通活性化協議会には、奈良県タクシー協会と同協会の磯城郡支部に委員としてご参画いただいております。ご意見をいただきながら進めております。tawamo(タワモ)の運賃を300円にすることに関しましては、町内のタクシー事業者から支障が無い旨の回答を得ており、令和7年4月25日開催の第47回地域公共交通活性化協議会でも承認いただいております。 引き続き、町とタクシー事業者が協力し合うことで、双方の役割を尊重しつつ、地域住民の利便性を高める取り組みを進めていきます。

	該当箇所	パブリックコメント 概要	田原本町の考え方
3	P42	「・利用者の主な使用目的が通院や買い物であることから、営業時間等を鑑み利用時間の延長を検討する ・同じく曜日に関しても日曜日、祝日についても利用を可能とすることを検討する」と表記があるが、すでに実施している内容である。修正すべきでは？	ご指摘のとおり、すでに実施している内容であるため修正いたします。
4	その他	パブリックコメントの提出先のメールアドレスの表記がなく、積極的にパブリックコメントを受付される姿勢を感じません。	パブリックコメント実施をお知らせするホームページにつきまして、ご指摘の通り提出先のメールアドレスの表記が漏れておりました。大変申し訳ございませんでした。指摘をいただいてすぐにホームページを修正しました。